1968.2.1 (昭和34年9月16日 第3種郵便物認可) 市政大野 (毎月1日発行 1部2円) 第164号 (1)

発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6－3600
夜間 6－3601
印刷松浦印刷所

市政 大野

1月の人口の動き

出生	男 31	女 29	計 60
死亡	〃 11	〃 8	〃 19
転入	〃 58	〃 51	〃 109
転出	〃 94	〃 87	〃 181

世帯数 9,906
人口 44,215
男 21,231 女 22,984

補正予算など審議

第103回臨時市議会

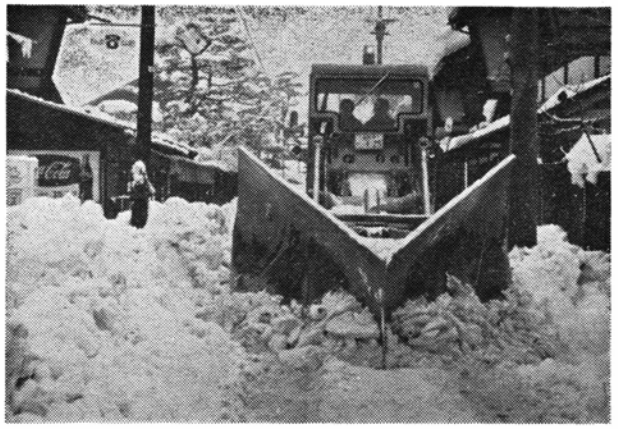
1月17日から3日間の日程で開かれた第103回大野市臨時議会には財政再建計画の変更を含む8議案が提出され、慎重審議の結果、それぞれ原案どおり可決されました。

このたびの議案は主として人件費の補正で、一般会計では 1,258万円、国民健康保険特別会計など4つの特別会計の総額では88万円です。これは昭和42年8月人事院勧告に基づいて大野市一般職の職員の給与改定を行なうものです。

このため歳入歳出予算の総額は一般会計では14億 4,535万円に、特別会計では2億2,970万円になりました。

財政調整基金設置

市では財政再建計画を着実に実施するため、災害復旧費その他建設的な事業の財源を積みたてる「大野市財政調整基金」を設置することになりました。



5年ぶりの大雪

主要道路を守る

12月8日未明から当地方を襲った寒波は11日に早くも60センチの積雪となり、12月としては5年ぶりの大雪となりました。

このため、大野市では除雪計画に基づきグレーダー、シヨベルカーを出動、まずバイパスおよび市街地路線から開始されフル運転で主要道路の確保にあたりました。

雪はその後も断続的に降ったため、30日には新雪53センチ、積雪は 133センチとなり各路線は再び交通がマヒしました

このため市においては民間から14台の除雪車を借りあげ、バス路線などの第1次路線の30キロ、国県道に接続する主要道路と通学道路の第2次路線の50キロを重点に行ないました。

1月になっても、市の除雪車をフル運転させる一方、民間からの応援を得て主要道路の確保にりました。。

(写真は雪を取り除くグレダー)

財政再建計画の一部変更

昭和43年1月 第103回大野市臨時市議会の議決を経て、財政再建計画を次の通り変更しましたので公表します。

これは昭和42年8月人事院勧告に基づき、国家公務員の給与が同年8月より改定されることになりましたので、大野市もこれに準じて、一般職の給与を改定いたしました。

その経費は1,258万2.000円で、財源は地方交付税1 050万9,000円、電気ガス税207万3,000円をもって充当することといたしました。

住宅資金の貸付

申込先 福井銀行大野支店

住宅金融公庫金沢支所では昭和42年度第3回住宅改良資金貸し付けの、借り入れ申し込みを受け付けております。

◎受付期限 昭和43年2月20日(火)まで

◎受付場所 福井銀行大野支店。

◎対 象 自分の家で増築、改築、修繕、その他の工事費のため。

◎貸付金の限度 工事に用する費用の7割以内で、10万円から35万円まで。

◎貸付金の利率 年6分。

◎償還方法 期間は10年以内。

詳細は市建設課でおたずねください。

家計簿体験談募集

貯蓄増強中央委員会では「わが家の家計簿」の体験談を募集しています。奮って多数ご応募ください。くわしいことは商工観光課でおたずねください。

交通安全を推進

大野建築士会 建築業組合

大野建築士会 市建築業組合はこのほど役員会を開き最近の交通事故防止を図るために、交通安全推進協議会を設立することを決めました。

交通安全推進協議会での活動の主なものは、①飲酒運転は絶対にしない②建前の振舞酒は必ず辞退する③安全運転の鉄則を固く守るなどの3ツです。

総会は2月6日大野信用金庫で開かれる予定で、可決されしだい全員自粛することになっています。なお市安全協議会では他の事業所、組合とうにおいても交通安全の組織づくりを望んでいます。

◎今月の納税は固定資産税第四期分です。

◎戸籍、除籍の閲覧手数料は一戸籍五〇円です。

税務事務を委託

電子計算センターへ

委託計画

近年民間大企業や公共団体で電子計算組織をとり入れて、経営の合理化を図っています

大野市も明年度から計算事務および転記事務の最も多い税務事務（固定資産税、市民税および国民健康保険税の3税）を改善合理化するため電子計算センターに委託することになりました。

委託によつてよくなる点

(1)　計算および転記など手作業のため多くの人手を要する単純作業を機械にさせて事務処理の敏速と、人件費の節減をはかり、あわせて手作業による間違いをなくする。

(2)　委託で節減される人的余力を課税標準の調査や検査など判断業務および税の徴収にふり向け最も大切な課税の適正、公平を期し、税収の確保をはかる。

委託でやや不便になる点

(1)　電子計算機には数字を記憶させて自動させるので帳票等に記入する町名（部落名）や世帯は総て数字（番号）で表示される。

町名
4 2 0

…御給

世帯
7 0 1 2

…山田渉

(2)　納付書その他帳票等に記入する氏名の宛名は「かたかな」で印刷される

420—7012—00　ヤマダワタル

以上のように、よくなる点と、なれるまでの不便の点がありますが、電子計算機を採用することが、終局において、市民の負担を軽減し、課税の公平適正を期するため、有利であると考えられますのでご協力くださいますようお願いします。

標高1523メートル

荒島岳(1)

郷土紹介

荒島岳は大野盆地の東南にそびえる標高1,523.6メートルの秀峰で、この辺一帯は奥越高原県立公園に指定されています。

頂上には約10アールの芝草地がありここからの視界は四方に広がり実にすばらしい。遠くは北アルプスの連山を望み、白山は指呼の間に、大野盆地は地図をひろげたように見えます。

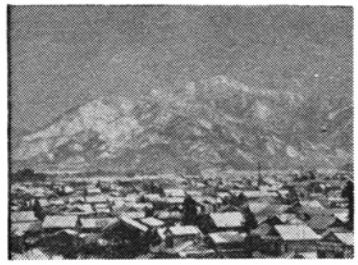
ここ荒島岳には高山植物、野生薬草の多いことは県内山中随一で、キャンプハイキングの好適地となっています

また冬はスキー場として、大野市街地に近く、シーズン中は直通バスも出ており、1500メートルの滑走路、ヒュッテなどが完備し、大野から蕨生までの所要時間は約20分です。

なお、大原高原の上には数年前にテレビの中継所が、また昨年は荒島山頂に奥地の雨量と上流河川の水位の観測を一手に処理する建設省荒島無線中継所が建てられています。

現在の佐開にある荒島神社はもと山頂にあって物部氏の祖先がまつられています。

（写真は市庁舎屋上から荒島岳を望む）



松田恵子さんら入選

貯蓄推進ポスター審査

大野市貯蓄推進委員会では、児童生徒の正しい金銭観の育成と貯蓄思想の普及を図るため、小中学生から貯蓄推進ポスターを募集しました。

応募作品は小学校 364点、中学校29点で審査の結果、小学校の部では26点、中学校の部では7点が入選しました。

入選者は次のとおりです。

小学校の部

△大野市貯蓄推進委員会長賞　松田恵子（森目）△福井県貯蓄推進委員会長賞　村田広子（有終南）△日本銀行福井事務所長賞　島田俊一（有終西）△大野郵便局長賞　大橋俊彦（有終南）南口明巳（小山）△大野市農業協同組合長賞　岸下友子（阪谷）和田晴行（有終南）△上庄農業協同組合長賞　竹本由範（小山）鳥山昌純（有終西）△大野金融機関協会賞　宇野由利子（有終西）中村礼子（乾側）△佳作　藤田学（有終西）宮本ひろみ（〃）飯田奈賀子（〃）寺島洋子（〃）藤川由美子（〃）大谷嘉代（〃）川端久美子（乾側）佐木まゆみ（富田）酒田竜子（若生子）角本邦子（下庄）小南嘉代子（有終南）加藤博子（〃）芦原雅則（〃）幅口早苗（打波）山森悦子（阪谷）

中学校の部

△大野市貯蓄推進委員会賞　桑盛善一（小山）△福井県貯蓄推進委員会長賞　長谷川芳子（乾側）△日本銀行福井事務所長賞　佐々木陽子（乾側）△佳作　水丸信夫（乾側）矢戸宏美（小山）佐々木正孝（小山）田中義治（小山）沢本清子（打波）

睡眠薬遊びはやめよう

青少年コーナ

一部の青少年の間に「睡眠薬遊び」が行われているといわれますが、こんな遊びには絶対に誘われないようにしてください。

この遊びは睡眠薬をのみ、眠ってしまわずもーろーとした意識で喫茶店などを出入して動き回り、むしゃくしゃした気分から一時的に解放されて、満足感を味わう遊びです。この遊びに誘われる少年は、意思が弱く、性格的に不安定で劣等感の強い型の者が多く、ドロンとした目付きで、感覚がにぶり何をされても、また自分がやっても罪悪感がなく、ふだん言えなかった心のしこりを、何の抵抗も感ぜないで、誰かに爆発させて発散させるようになります。そのため怠惰で無気力な人間になり不純な交遊を覚えこの遊びが人生のすべてであるかのように思い込んでしまうのです。

この遊びに誘われるきっかけは、試験勉強などで気分的に苦しい時、女性が不用意に男性と同席して気のつかない間に飲まされるような場合などが多いようです。

この習慣がつくと、大切な一生をだいなしにすることになりますので、こんなことにならないよう、みんなで注意しあってください。

700名が参列

成人者を激励

ことしの成人式は1月15日午前10時から市民会館で盛大に行なわれました。あいにく寒い荒れ模様の日でしたが該当者960名のうち750名出席の好成績でした

寺島市長のあいさつで式ははじまり、板橋市教育委員長の激励のことば、林市議会議長の祝辞があり、引き続き記念品の贈呈、健康証明書の授与、成人感想文入選者の表彰がありました

成人感想文の入選者は次のとおりです

1位 福田政子(田野)理容師、2位 池端保(牛ケ原)公務員、3位 田苅利子敏夫(上打波)学生、同横山照代(明倫町) 看護婦

成人を代表し中村雅実さんが誓いのことばを述べました。

式典のあと、愛知学院大学教授（宝慶寺住職）大塚道光先生の記念講演「現代青年に望む」などがありました

（写真は記念品を受ける田中由美子さん）

一日に三十万円が灰

火災件数は半減＝損害額は最高

市消防署では昭和42年中の火災発生状況を発表し、あわせて正しい火気の取り扱いを強く要望しています。

昭和42年中に焼けた棟数は14棟となっており、損害見積額は1億673万円で過去5年間の最高となり、1日平均30万円が灰となっている勘定になります。損害額の92%は工場でした。

火災件数としては昭和41年の36件に比べ18件と半減し、過去11年間の最低となりました。特に住宅の火災については7件となり、41年に比べわずかに4%に減少しました

月別では4月に4件の火災が発生しており、1年間の25%ちかく集中発生しています。

これを原因別にみますと、取り灰の不始末が3件、タバコによるもの2件、その他となっており、工場の火災原因はV型ベルトの摩擦熱と推定されています。

その他の中にはガスコンロ、電熱ストーブなどの取り扱い使用方法の誤り……などとなっています。

これからの出火原因として特に注目されるのは危険物（灯油、ガス）です。

このため各家庭における危険物の取り扱いはじゆうぶん注意し、町内、部落ごとの自主防火体制の確立に努力してくださるようせつにお願いします。

交通事故がトップ

2日に1回出動

救急車の出動は日を追って増加しており、昨年の救急件数は 158件、救護した人数は 150名に達しいずれも昭和41年に比べ30%増加しています。

これを理由別にみますと交通事故が全体の32%、急病人が31%、運動競技で16%でした

ことしは特に交通事故による出動皆無を祈ってやみません。

災害の救急に備え

応急手当法を習得

赤十字奉仕団救急講習会が1月11日午後1時から市役所で開かれました。

これは特に冬期間でのスキーによる事故、急病のとき救急処置を考えないで運ぶことは患者に苦痛を訴えさせ、そのうえ病状を悪化させるので、二次的に起る出血などの障害を防ぐことをねらいとして行われました。

この日は日本赤十字社福井支部大野地区奉仕団員や各スキー場の振興会の関係者ら約40名が参加し、まず日本赤十字社福井支社課長から一酸化炭素中毒、凍傷火傷、骨折、捻挫の症状と局所の処理、全身の保護などについて説明がありました。そのあと、手布、三角布、包帯を使っての応急処理と患者の運搬方法などについての指導を受け、災害の救急に備えました。（写真は救急法を受ける奉仕団員）

大野の歴史㉒

カラフト開拓の企図は大野藩より

カラフトの探検と開拓の企図は、全国無比の大野藩の壮挙であった。企画は内山兄弟の主唱により、安政2年（1855）の暮に始まり、謀議を練り準備に4カ年を費やし、万延元年（1860）に大野丸をカラフトに廻航し、元治元年（1864）にカラフトを引あげるまで10年間の苦難を重ねたのである。

なぞの土地カラフトは、文化五年（1808）間宮林蔵が探検して島であることを発見した。その頃からロシアは強制的に移民を始めたが、安政元年日露の和親条約によって、カラフト全島を両国の共有とし、勝手に移住開拓できるようになった。

大野藩が、諸藩に先がけて、カラフトの渡航と開拓を企画し、実行に移したことは卓見であり壮挙であった。

幕府は内憂外患によって北方を顧みるいとまなく、大野藩は開拓のための多大な費用を支出しかね、しかも大野丸は元治元年北海道根室沖で沈没し、この空前の壮挙は夢幻に終ったのである。

この雄図が実現していたならば、日露両国のカラフト・千島交換問題（明治8年）はおこらず、永久に日本領となっていたであろう。

◎お手もとの現金はひとまず貯蓄いたしましょう。

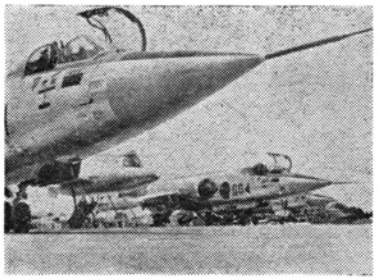
すぐ国家公務員に
自衛官を募集中

防衛庁では、ただいま昭和42年度第4次の陸海空自衛官を募集しています。自衛官は国家公務員として身分が保障され規律ある団体生活により責任感と根性が養なわれます。また適性による技術が習得（70余種類）できるのでりっぱな技術者にもなれます。

満期除隊者は就職状況も良く、就職後の評判も上々で、一流会社では特に歓迎し、優遇されている現状です。

応募資格は18才以上25才未満の心身ともに健全な男子です。

志願手続きは市役所総務課（6—3600）か自衛隊福井地方連絡部（23—1911）で行なっていますので気軽におたずねください。（写真は空の守りにつく最新鋭ジエット戦闘機F—104J）



家庭の日……2月18日

2月のテーマ

みんなで家庭での役割を話しあいその責任をはたそう。

冬期間のゴミについておねがい

ことしの冬は早くから雪が多く主要道路以外は、じゅうぶんな除雪ができない関係もあって、ごみ収集作業も思うようにはかどらず、皆さんにたいへんご迷惑をおかけしています。

収集計画をたてても、また、新たな雪が降り積ったり、道中で屋根雪がおろしてあったり、他の車との行き違いで手間どるやら数々の障害があって、苦労しているわりに能率があがらない状況であります。　冬期間は集めに行ける時期まで袋詰めなどにして置いてください。また車のはいれないところのかたは車の通れるところまで持ち出してください。

なお、袋詰めにして置いたばあい、犬が食い破って、乱雑にしますので、犬の放ち飼いは絶対しないよう、飼主はじゅうぶん気をつけてください。

戦争公務による公的年金受給者にかかる老齢福祉年金の裁定請求について

戦争公務がもとで死亡されて受けている公的年金、例えば公務扶助料、遺族年金の受給権のある方に対する老齢年金は昭和37年10月までは、老齢年金の額が12,000円であったため併給支給（公的年金と老齢年金をあわせて支給）の対象とならず裁定請求（老齢年金の支給を請求すること）をさせなかったものでありますが、昭和37年10月より併給支給の限度額が70,000円となり（一般恩給の場合は24,000円）老齢年金との併給支給（一部支給）が実現し、その後何回か限度額がゆるめられてきました。

37年10月以降に70歳になられた方については、すでに裁定請求がなされておるものと思われますが、それ以前に70歳に達している方であって、併給支給の対象外であるため、裁定請求をしていなかった者については、42年10月で5か年経過し5年を経過すると請求の権利が無くなり支給対象の方でも支給されなくなりますもし、このような方がおられましたら至急市民課年金係へおいでくださって請求書を出されるようお知らせします。

あほなこっちゃ

当世節分

豆よりも角材に気をつけろ

鬼

アホナコッチャ

シヤツを贈る
飯田氏らの意好で

東京都飯田百貨店主飯田信太郎氏より10万円、一市民（匿名）より5万円を就学奨励に役立ててくださいと市教育委員会へ届けられました。

市教育委員会では11月上旬、要保護、準要保護児童生徒にカッターシャツ、ブラウス、ズックなどを希望に応じて贈り児童生徒から喜こばれました。

身体障害者を対象
運転技術受講者の募集

身体障害者手帳をお持ちのかたで、自動車運転免許を希望されるかたは、2月10日までに市役所福祉事務所までお申し込みください。なお、くわしいことは市福祉事務所へお問い合せください。

風見鶏

私が住んでいる地区には毎年一月十四日に「サギッチョウ（左義長）」が行われる。お隣りの勝山のような大々的なものではない。昔は相当大がかりな火祭りであったらしいが、現在ではおよそ次のような小規模なものに変っている。▼一月十四日、青年会員が朝から鎮守のお宮へ集り、清掃を行い、神かざりをする。神社の庭の雪を割り、タキ火のまきを積み準備万端を整える。正午マキに火を入れて大きなたき火を作る。村人はめいめいおもちを持ってきてこの火で焼き、たき木の燃えくいをもらって帰る。翌日各家庭ではこの燃えくいを中心におかゆを作り無事息災を祈って食べる。残りを庭の柿の木に与える。子供は二人で、一人が「なるかならぬか言え」というと、「ハイ、ハイなります」と一人は答え、ナタで傷つけた幹へかゆを入れる。▼私は子を連れてお宮へ行った。しめなわや書初め、神ふだなどはこの神火に捧げるのである。若い嫁さん方でそのことを知っていない人もある。神火を囲み煙に目をこすりながら、この祭の由来を老人から聞いたりしている。▼しかし今年の青年会員は二～三人であるみな出かせぎに出かけているからだ。村人の参加も心なしか年々減る傾向にあるガス、石油、電気で炊事する時代だ。神火を分けてかゆをたくいろりやカマもなくなりつつある。町々にせっかく飾った多くのしめなわなどの始末は一体どうなっているのだろうか。▼勝山の「左義長」さえ存続の岐路に立っているという。しかし何かというと観光価値で断じる風潮は、私たちの周囲に残された素朴な民俗の伝承さえ否定しようとする。明治百年降る雪に思う生活断片のひとこま。